

## 新天皇陛下御即位祝賀レセプション大使挨拶

2019年（令和元年）5月2日

2019年5月2日

みなさん、こんばんは。

本日は新天皇陛下御即位祝賀レセプションに御出席頂きありがとうございます。このようなめでたい機会に皆様をお迎えし、皆様と共に即位をお祝いすることができ大変嬉しく思います。

4月30日、明仁天皇陛下が退位され、昨日5月1日、徳仁皇太子殿下が新しい天皇陛下として即位されました。前天皇皇后両陛下は退位に伴い上皇皇后両陛下となりましたが、御二人ともお元気でお過ごしになっています。

日本では、法律に基づき、元号という独自の *Nome de Era* が定められています。新しい天皇の即位に伴い「平成」の時代が終わり、「令和」の時代が始まりました。新たな元号である「令和」の「令」は、「美しい (Beautiful)」、「和」は「調和 (Harmony)」を意味し、その上で、「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められています。

日本国憲法第一条には「天皇は日本国の象徴であり、日本国民統合の象徴である」旨、規定されています。国民統合の象徴である新しい天皇陛下が即位されて始まった令和の時代が、平和でかつ皆様にとって幸せなものとなるよう願いたいと思います。

レセプションの前に、本日御来訪の皆様には新天皇陛下の即位を祝賀する記帳をしていただきました。まだ記帳されていない方は、記帳していただけますようお願いいたします。また大使館では5月7日から9日の3日間、祝賀の記帳を受け付けています。

さて、日本人ブラジル移住110周年を迎えた去年は、3月にブラジルでの「世界水フォーラム」における御講演のため徳仁皇太子殿下（当時）が来伯されました。その際、皇太子殿下は大使公邸のこのサロンでブラジル各地の日系団体代表の方々と御接見されました。また、7月には眞子内

親王殿下がブラジル国内の5州、14都市を訪問され、ブラジルにおける日系社会にとっても大変記憶に残る年となりました。

徳仁新天皇陛下は1982年、2008年、2018年と、これまで3回ブラジル訪問されています。昨年の御訪問はブラジリアだけでしたが、その前のご訪問ではブラジル各地を訪問されています。日本の皇室とブラジルとの関係は地理的に遠く離れているにもかかわらず、大変緊密なものです。新天皇陛下をはじめ、皇室の方々はブラジルという国とそこに住む日系人の方々に常に心を寄せられてきました。

今年には日本でG20が開催される予定であり、この機会にボルソナーロ大統領をはじめとする多くのブラジル政府関係者による訪日が予定されています。今後も両国の関係がさらに緊密なものとなることが期待されます。

新天皇陛下の即位をお祝いし、天皇皇后両陛下、上皇上皇后両陛下のご健勝を祈念し、新しい時代の日本とブラジルの二国関係がさらに進展することを祈念し、私からの挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。